

NEWS RELEASE

報道関係者各位

2026年1月27日

西京極総合運動公園の多目的活用トライアル

一番近くの大学・京都光華女子大学の学生と教職員が“あの手この手”で共創します！

京都光華女子大学（学長：高見 茂）キャリア形成学科および地域連携推進センターは、西京極総合運動公園（京都市右京区）の多目的活用トライアルの一環として、「花と緑空間育みプロジェクト（通称：CO-KADAN コー・カダン）」を始動します。そのキックオフとして、2026年2月8日（土）に同公園内の花壇で、地域住民と学生・教職員が一緒に花を植えるミーティングを実施します。本取組は公民連携プラットフォーム「KYOTO CITY OPEN LABO」に採択されています。

■西京極総合運動公園の多目的活用トライアルについて

本学では、京都市における西京極総合運動公園の再整備検討を契機に、「公園を核としたまちのポテンシャル向上」と「地域に愛される総合運動公園づくり」を目的とした多目的活用トライアルを進めています。本学キャリア形成学科の正課科目「地方自治」（担当教員：大島 祥子 准教授）を履修する4年生14名、3年生12名、2年生10名からは、フィールドワークを通じて、イベント開催や“おしゃピク”（おしゃれなピクニックの略）の場づくり、野鳥を育む仕組みづくりなど、多様な提案が生まれております。「花と緑空間育みプロジェクト」はその第一歩となる取組です。

キックオフミーティング当日は、地域住民と学生4名、教職員が集まり、本取組の目的・ビジョンを共有します。あわせて、ガーデンデザイナー「ミドリ虫」の多谷江美子氏を講師に迎えた講演と意見交換を行い、練習としてプランターを用いた実習も実施する予定です。

■学生と地域が育てる『CO-KADAN』

本プロジェクトは、西京極総合運動公園の緑地に「花」を加え、その手入れを地域と大学が協働して行うことで、公園を“通り過ぎる場所”から“出会いと交流が生まれる場”へと育てていくことをめざすものです。西京極総合運動公園に最も近い大学として、学生の学びと地域のWell-Being向上を両立させる取り組みです。

「花と緑空間育みプロジェクト」は通称「CO-KADAN（コー・カダン）」です。「CO」には“みんなで・協働で”、「KADAN」には“花壇”という意味を込め、本学が地域の皆さんとともに取り組み、その魅力向上につなげていきたいという思いから、「光華（こうか）」の響きも織り交ぜています。

今後は、本学学生ボランティア組織「光華リエゾンクラブ」等とも連携し、花壇の継続的な管理や、ピクニック企画、子ども向けワークショップなどへと展開していくことを検討しています。



■キックオフミーティング概要

日 時：2026年2月8日（日） 9:30～11:30

場 所：西京極総合運動公園 わかさスタジアム京都 役員室

〒615-0864 京都府京都市右京区西京極新明町29

内 容：本取組の目的・ビジョンの共有

ガーデンデザイナー「ミドリ虫」多谷江美子氏による講演と意見交換

プランターを用いた実習

参加者：京都光華女子大学 学生・教職員、地域住民（15名程度を想定、申込不要）

報道各社におかれましては、本取組について広くご紹介・ご取材いただきますようお願い申し上げます。

«取材に関するお問い合わせ»

京都光華女子大学／短期大学部 入学・広報センター 担当：川島

[TEL] 075-312-1899 [FAX] 075-312-5594 [E-mail] hkk@mail.koka.ac.jp [URL] <https://www.koka.ac.jp/>

2026年4月共学化！
「京都光華女子大学」から
「京都光華大学*」へ
※名称変更

STAY BONBU, CO-CREATE WELL-BEING.

世代を超える願いをつなぎ続ける学園を目指して

Well-Beingな社会を実現するためには多様な人々が手を取り合い共創することが必要です。
その共創のスキルを学生が育めるよう、本学園はジェンダーの壁を取り払い、男女共学化。

おもいやりの心で互いを尊重し、あらゆる人と共創できるキャンパスに進化します。